



たくさんの経験を子供達の自信につなげていきたい！

「自分によいところがあるか」「自分に自信があるか」「ちゃんとできるだろうか」など、子供だけではなく、大人も思うことがあります。その要因は様々だと思いますが、そのひとつに「自信がない」ということがあると思います。大人は子供よりも長く生きてるので、様々な経験（楽しいことも辛いことも）をしています。子供達は様々な経験が少ないです。その中でも、子供達がやったことがあることや、知っていることについては、見通しももてるので、不安が少ない状態、ある程度自信がある状態で臨めるのではないかと思います。様々な経験が、自信や自己肯定感の向上につながると思います。

そのために、学校では、できるだけ子供達に様々な経験をさせたいと考え、外部の方にお世話になりながら場の設定をしております。特に2学期は盛りだくさんです。学校行事では、社会見学、修学旅行が終わり、学習発表会、持久走大会があります。児童会行事でスポーツフェスティバルも行いました。生活科や総合的な学習の時間では、1年生は因島北認定こども園さんとの交流、2年生は警察署やお店など町探検、3年生は因島商工会議所の皆様からのお話やはっさくんとのお話、4年生は八幡神社での学習や尾道市役所観光課の方からのお話、5年生は防災について尾道市役所総務課の方のお話、6年生は尾道市役所しまおこし課や小早保存会の皆様にお世話になっての小早体験など、学校だけではできない学習の場を仕組んでおります。

さらに、10月14日（金）には、5・6年生を対象に、岩崎真由美先生にお越しいただき、県教委主催のアクティブチャイルドプログラムをしていただきました。

（ホームページをご覧ください。）10月26日（水）には、ラグビートップチームのクボタスピアーズ船橋・東京ベイの皆様が来てくださり、5・6年生にタグラグビー教室をしていただきます。

日常の生活では、委員会活動等で全校のみんなに伝えること、朝の集会で学年発表をすること、日々の授業の中で友達に自分の考えを発表することも、経験のひとつだと思えます。これから、子供達は、大きな社会に出て活躍していきます。「学校」という小さな社会のなかでしっかりと自分を表現したり、友達と協力したりしながら、様々な経験をしていくことで、自信につなげていきたいです。

子供達の日々のがんばりや、様々な経験を積み重ねていく姿、学校での取組を、ホームページ等で発信していきますので、ご覧いただき、応援してください。



スポーツフェスティバル



アクティブチャイルドプログラム

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生が全国学力・学習状況調査（今年度は、国語、算数、理科、質問紙）を受け、8月終わりには、結果について新聞やニュース等で報道されました。

因北小学校6年生の結果（平均正答率）は、右の表のとおりです。結果を受けて、授業改善、チャレンジタイムの充実等、子供達に学力をつけるための対策を進めております。

調査からわかる本校の特徴は次のとおりです。

	国語	算数	理科
因北小	67	57	61
広島県	67	64	66
全 国	65.6	63.2	63.3

国語科	◎言語に関する事項（漢字等）の正答率が良い。 ◎記述等、自分の言葉で回答する問題の正答率が良い。 ▲適切な理由や主人公の気持ちを選択する問題の正答率が低い。 ※文章を読み取る力、文章を根拠に自分の考えをもつ力が必要。
算数科	▲平均正答数が広島県平均 10.2 問（全 16 問）に対して、本校は 9.2 問であった。16 問中 14 問以上正答している児童の割合は平均並みであったが、正答数 6～9 問の児童数が多く、定着の差が大きい。 ▲計算問題の誤答が多く、他の問題でも途中計算で誤答がある可能性がある。 ※「知識・技能」の確実な定着を図ることが必要。
理 科	◎理科の学習が好きな割合が高い。 ▲「思考・判断・表現」の問題の正答率に対して「知識・技能」の正答率が低い。 ▲問題解決の過程にある、分析や考察に係る正答率が低い。 ※目的意識をもった実験や観察をさせること、結果を基に考察し、自分の考えをまとめることが必要。
質問紙	◎「人の役に立つ人間になりたい」という設問の割合が平均よりも高い。 ◎「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」という設問の肯定的割合が高い。 →他者への意識、地域への思いは強い傾向にある。 ▲「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」という設問の肯定的割合がかなり低い。 ▲「平日（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯式ゲーム、スマートフォン等）をしますか」という設問に対して、「4時間以上」が約35%もあり、平均を大きく上回っている。全体的にも時間が長い。 ▲「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「人が困っているときは、進んで助ける」の肯定的割合が平均よりも約10%低い。 →学校外での過ごし方として、テレビゲームやSNS等を使った過ごし方が多い傾向にある。家でのルールを守っていないのであれば、見直しが必要。 →全体的に、4段階評価の4をつける割合が平均より低いことが本校の特徴として挙げられる。自信のなさ、自己肯定感の低さが感じられる。

12月の主な行事等

1日（木）	区子ども会、地域安全下校、登下校連絡会・路線バス意見交換会
2日（金）	口座振替日、ひこうき雲さん読み聞かせ
5日（月）	P T A 実行委員会
6日（火）	委員会活動
8日（木）	持久走大会（予備日9日）
13日（火）	学力定着実態調査（全学年、国語・算数）
15日（木）	地域安全下校・P下校指導
23日（金）	2学期終業式
26日（月）	2学期末個人懇談会

